

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 29 年 9 月 1 日

「**圧迫性頸部脊髄症患者の QOL に影響を与える因子の検討**」に関する臨床研究  
(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3764
課題名	圧迫性頸部脊髄症患者の QOL に影響を与える因子の検討:後ろ向き研究
研究機関	信州大学医学部
研究責任者	信州大学医学部 リハビリテーション部 西村 輝
研究実施期間	承認日～2022 年 12 月 31 日
研究の意義、目的	頸髄症患者の詳細な症状群の評価を行うことで QOL の維持・向上に影響を与える因子を明らかにすることである。患者の症状や障害をより詳細に評価をすることは、有効なリハプログラム立案のための介入研究の基礎となること期待される。
対象患者様	2014 年 4 月 1 日～現在までの期間に当院を受診し手術した頸髄症患者様。
利用カルテ情報	①人口統計学的データ:性別, 年齢, BMI, 罹患期間, 合併症の有無, 装具使用の有無 ②手術情報:術式, 出血量, 手術時間 ③重症度評価:頸 JOA score ④運動機能の客観的指標:関節可動域(頸部・体幹・肩・肘・手・股・膝・足関節), 筋力検査(体幹筋, 上腕筋群, 前腕筋群, 大腿筋群, 下腿筋群, 握力, つまみ力), Finger Escape Sign(FES), 10 秒テスト, Simple Test for Evaluating Hand Function(STEF), Jebsen-Taylor Hand Function Test. 6 分間歩行試験(6MWT), Timed up & go test, 10m 歩行, 30 秒椅子起立テスト, 開眼片脚立位時間 ⑤感覚検査:静的 2 点識別覚, Semmes-Weinstein Monofilaments, しぶれ(VAS), ⑥ADL 評価:Barthel Index ⑦QOL 評価:JOACMEQ ⑧電気生理学所見:神経伝導速度(MCV, SCV) ⑨画像所見:CT, MRI, X 線撮影

その他	
-----	--

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 リハビリテーション部 西村 輝 (電話: 0263-37-2836)